

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月12日

上場取引所 東大

上場会社名 駒井鉄工株式会社

コード番号 5915 URL <http://www.komai.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 須賀 安生

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員

(氏名) 佐々木裕之

TEL 03-3833-5101

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	37,469	△0.8	134	—	28	—	△27	—
21年3月期第3四半期	37,786	—	△552	—	△500	—	△732	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第3四半期	△0.77	—	—	—
21年3月期第3四半期	△20.56	—	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
22年3月期第3四半期	46,371	—	24,503	—	52.8	692.23	—	
21年3月期	63,445	—	24,701	—	38.9	697.77	—	

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 24,503百万円 21年3月期 24,701百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
22年3月期	—	2.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	47,400	△20.2	420	△35.8	260	△62.1	120	△66.9	3.39	—

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 (注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	36,432,711株	21年3月期	36,432,711株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	1,035,986株	21年3月期	1,031,717株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	35,398,206株	21年3月期第3四半期	35,621,626株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の橋梁・鉄骨業界におきましては、橋梁は、景気対策として今年度発注予定物件が上期に集中的に発注されましたが、発注量は前年同期並となり、また、政権交代による補正予算の執行停止などで今後の発注が不透明となるなど、厳しい状況が続きました。一方、鉄骨は、首都圏の大型再開発工事などに一部着工があったものの、引き続き地方都市圏においては民間の設備投資は回復の兆しが見えず、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のなか、当第3四半期連結累計期間の受注高は、橋梁、鉄骨共に大型工事が受注できたことや設計変更による増額が計上されたことなどにより総額222億5千1百万円（前年同四半期比41.4%減）を確保いたしました。売上高は、大型鉄骨工事が完成したこと及び進行基準適用工事の進捗が順調に進んだことなどにより374億6千9百万円（同0.8%減）となりました。損益につきましては、橋梁、鉄骨共に手持工事が計画通りに進捗したこと、工事利益動態管理の定着などにより営業利益1億3千4百万円（前年同四半期は5億5千2百万円の損失）、経常利益2千8百万円（同5億円の損失）を確保いたしました。四半期純利益は法人税等調整額の計上などで2千7百万円（同7億3千2百万円の損失）の損失となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

— 鉄構製品事業 —

(1) 橋梁

当第3四半期連結累計期間の受注高は、国土交通省関東地方整備局・根岸地区高架橋、同・打越高架橋耐震工事、東京都・大井ジャンクション他で40億3千4百万円（前年同四半期比45.1%減）となりました。

完成工事高は、静岡県・西萩間高架橋他の工事で90億4千万円（同19.4%増）となり、これにより受注残高は98億2千9百万円（同42.1%減）となっております。

(2) 鉄骨・その他

当第3四半期連結累計期間の受注高は、新宿駅南口地区基盤整備人工地盤上鉄骨工事、パレスホテル建替計画新築工事他で182億1千6百万円（前年同四半期比40.5%減）となりました。

完成工事高は、(仮称)仙台一番町プロジェクト新築本体建築工事他の工事で281億7千8百万円（同5.9%減）となり、これにより受注残高は167億7千8百万円（同54.6%減）となっております。

— 不動産事業 —

大阪市西淀川区にある大阪事業所の未利用地部分について賃貸による有効活用を行っております。当第3四半期連結累計期間の不動産事業売上高は2億4千9百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は前連結会計年度末より170億7千3百万円減少し463億7千1百万円となりました。

資産の部では、流動資産は工事進行基準を適用したことなどで手持工事の未成工事支出金が121億2千5百万円、未収入金が28億6千5百万円それぞれ減少したことなどにより、166億5千2百万円減少し243億3千2百万円となりました。固定資産は4億2千1百万円減少し220億3千8百万円となりました。

負債の部では、流動負債は未成工事受入金が工事進行基準を適用したことなどで76億3千4百万円、工事未払金が53億2千7百万円それぞれ減少したことなどにより、193億5千7百万円減少し151億7千万円となりました。固定負債は24億8千2百万円増加し66億9千7百万円となり、負債合計は218億6千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が1億7千2百万円減少したことなどにより1億9千8百万円減少し245億3百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 4. その他

#### (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

#### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用する方法によっております。

(特有の会計処理)

原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産として繰り延べております。

#### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	2,603	3,056
受取手形・完成工事未収入金	17,803	18,762
未成工事支出金等	479	12,675
その他	3,456	6,507
貸倒引当金	△10	△17
流動資産合計	24,332	40,985
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	5,066	5,268
機械・運搬具(純額)	1,287	1,426
土地	12,709	12,709
その他(純額)	167	171
有形固定資産計	19,230	19,574
無形固定資産	52	60
投資その他の資産		
投資有価証券	2,320	2,362
その他	444	498
貸倒引当金	△8	△36
投資その他の資産計	2,755	2,824
固定資産合計	22,038	22,459
資産合計	46,371	63,445
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,838	16,984
短期借入金	6,003	6,624
未成工事受入金	270	7,905
工事損失引当金	—	745
引当金	367	91
その他	690	2,177
流動負債合計	15,170	34,528
固定負債		
長期借入金	3,616	1,080
繰延税金負債	1,794	1,861
退職給付引当金	1,056	1,022
引当金	10	8
その他	219	241
固定負債合計	6,697	4,215
負債合計	21,868	38,743

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,619	6,619
資本剰余金	6,273	6,270
利益剰余金	11,360	11,532
自己株式	△293	△292
株主資本合計	23,961	24,130
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	536	564
為替換算調整勘定	5	6
評価・換算差額等合計	542	570
純資産合計	24,503	24,701
負債純資産合計	46,371	63,445

(2) 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
完成工事高	37,786	37,469
完成工事原価	36,635	35,664
完成工事総利益	1,151	1,804
販売費及び一般管理費	1,704	1,670
営業利益又は営業損失(△)	△552	134
営業外収益		
受取配当金	55	34
受取家賃	23	24
材料屑売却益	50	39
雑収入	50	14
営業外収益合計	180	112
営業外費用		
支払利息	112	142
支払手数料	—	69
雑支出	15	5
営業外費用合計	127	217
経常利益又は経常損失(△)	△500	28
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	6
その他	—	0
特別利益合計	—	7
特別損失		
固定資産除売却損	7	10
会員権評価損	10	—
独占禁止法関連損失	192	—
その他	—	2
特別損失合計	210	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△710	22
法人税、住民税及び事業税	17	18
法人税等調整額	4	31
法人税等合計	21	50
四半期純損失(△)	△732	△27

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
完成工事高	18,437	16,173
完成工事原価	17,580	15,329
完成工事総利益	857	843
販売費及び一般管理費	517	548
営業利益	339	294
営業外収益		
受取配当金	24	14
受取家賃	7	7
材料屑売却益	4	14
雑収入	4	6
営業外収益合計	41	44
営業外費用		
支払利息	43	49
為替差損	6	—
雑支出	2	1
営業外費用合計	52	50
経常利益	328	288
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	1
会員権評価損	2	—
独占禁止法関連損失	177	—
その他	—	0
特別損失合計	182	2
税金等調整前四半期純利益	146	286
法人税、住民税及び事業税	5	5
法人税等調整額	1	40
法人税等合計	7	46
四半期純利益	139	239



(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

6. その他の情報

【受注及び販売の状況】

(1)受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注高	橋梁	7,346	19.3	4,034	18.1	10,418	22.1
	鉄骨・その他	30,641	80.7	18,216	81.9	36,699	77.9
	合計	37,988	100.0	22,251	100.0	47,117	100.0

項目	前年同四半期 連結累計期間 (平成20年12月31日現在)		当第3四半期 連結累計期間 (平成21年12月31日現在)		前連結会計年度 (平成21年3月31日現在)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
受注残高	橋梁	16,964	31.4	9,829	36.9	14,835	35.7
	鉄骨・その他	36,988	68.6	16,778	63.1	26,740	64.3
	合計	53,952	100.0	26,607	100.0	41,575	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2)販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(百万円未満切捨て)

項目	前年同四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		前連結会計年度 (自平成20年4月1日 至平成21年3月31日)		
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
鉄構製品事業	橋梁	7,570	20.0	9,040	24.1	12,770	21.5
	鉄骨・その他	29,961	79.3	28,178	75.2	46,267	77.9
	計	37,531	99.3	37,219	99.3	59,038	99.4
不動産事業	255	0.7	249	0.7	339	0.6	
合計	37,786	100.0	37,469	100.0	59,377	100.0	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。